



令和元年度「滋賀県産業安全の日」に合わせて 滋賀労働局長が安全パトロールを実施

滋賀労働局(局長 石坂 弘秋)では、平成3年に毎年11月15日を「滋賀県産業安全の日」と定め、滋賀県民の労働災害防止についての意識の高揚と事業場における自主的な労働災害防止活動の推進を図ってきました。また、平成25年からは、より実効性を高めるため、11月の1か月間を期間とする「滋賀県産業安全の日 無災害運動」を提唱しているところです。

「滋賀県産業安全の日」の取組の1つとして、令和元年11月18日(月)に、カルビー株式会社湖南工場(湖南省柑子袋558番地)において、滋賀労働局長、東近江労働基準監督署長等による安全パトロールを実施いたしました。

カルビー株式会社は菓子類等の食料品製造を行う企業であり、湖南工場では、主に、スナック菓子の製造を行っています。



安全衛生活動の取組状況を確認したところ、特徴的な活動、好事例として、以下の活動が展開されていました。

- ① 企業全体として経営の優先順位を以下のとおり定めており、安全を最優先とする意識の浸透を図っていること。「安全」の表現を「Safety」ではなく「Anzen」とすることで、「Quality」の頭文字と合わせ、「AQ(永久)」とし、これらを「永久に守り続ける」という意味を持たせているとのこと。

また、今年度の湖南工場の安全衛生方針として、「安全に対する意識向上を更に高める」を掲げていること。

- ・ Anzen (安全) A (永)
- ・ Quality (品質) Q (久) } 永久に守り続ける
- ・ Cost (コスト)
- ・ Delivery (供給)

- ② 各作業者の安全意識の向上を図るための具体的な活動として、「危険予知訓練(KYT)」の充実化に取り組んでおり、実際に発生した過去の労働災害(系列の他工場での災害も含む)を対象に、災害の分析、KYT教材の作成を行っていること。

- ③ 全ての管理者が高い安全意識を持つよう、業績評価制度の項目に、安全面での活動、結果を入れるようにしていること。
- ④ 作業現場内の危険源の抽出を推進するため、各作業者によるヒヤリハット事案の報告、改善提案を励行する「ヒヤリハットキャンペーン」を実施していること。特に、改善効果の高かった事案については、優秀ヒヤリハット賞として表彰を実施している。
- ⑤ 過去の労働災害の発生場所を、工場見取図上に記した「労災マップ」を作成し、各作業者へ注意喚起を行っていること。

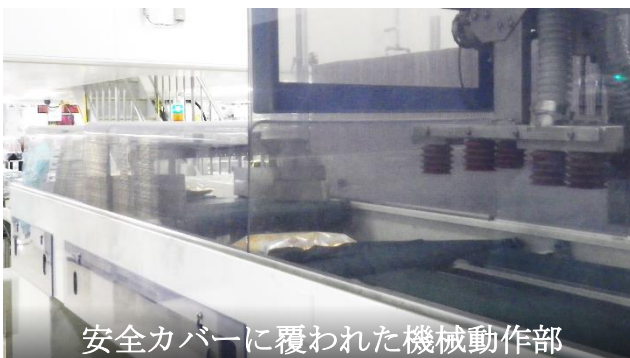


パトロール実施状況



労災マップ

- ⑥ メンタルヘルス対策として、安全衛生管理組織に臨床心理士を配置し、個別面談の実施等により、精神面での不調、うつ病等の精神疾患の早期発見を図っていること。
- ⑦ 労働者への安全衛生教育として、入社時・配置転換時教育、シニア教育の他、毎月1回、テーマ、トピック別教育（フォークリフトの運転に係る教育等）を実施する等、充実した安全衛生教育を実施していること。
- ⑧ 現場のチーム単位での安全パトロールを実施しており、チームとして改善対策を決定するため、各作業者が、安全に係る課題、リスクアセスメントについて考える場を設けていること。この活動は全社的な取組であり、活動内容が優秀なチームに対する表彰も行われていること。
- ⑨ 工場内の生産設備の自動化、省力化が進められ、通常作業において労働者が機械の危険箇所接近することが少なく、また、機械動作部への安全カバーも適切に設置されているため、安全性の高い生産ラインの設計が行われていること。
- ⑩ 生産工程において水、油を使用するため、工場内の床面は滑りやすくなっているが、床面に耐滑用塗装を施すことで、転倒災害のリスクの低減に努めていること。
- ⑪ 生産工程において高温の油を使用するため、特に夏期においては、外部環境の影響もあって熱中症リスクが高い作業場所が存在するが、工場建屋外壁に遮熱性塗料を塗ることで全体の室温を低下させ、また、特に高温の作業場所では、作業者に空調服を着用させることで、熱中症リスクの低減を図っていること。



安全カバーに覆われた機械動作部



耐滑用塗装を施した床面